

エステティックは、肌のトリートメントによって、血行やリンパの流れをよくし、代謝を活性化したり、表皮に水分を補給して、肌状態を改善したり、肌の活性化を促すことができます。また、光・超音波などの美容機器を使って、代謝・活性化の効果をより高め、肌状態を改善することもできます。

ただ、これらのケアによって、肌が活性化し、肌状態がよくなっても、その効果は一時的なもので、決して十分なものではありません。もちろん、シワやタルミが解消したり、肌が持続的に若返るようなこともありません。その効果は、ごく限られた範囲にとどまります。

再生美容セラピーは、エステティックではできない**繊維芽細胞や幹細胞そのものを活性化し、再生すること**で、肌の老化の原因であるコラーゲンやエラスチンの減少を根本的に解決し、肌の若返りを確実に実現するという、これまでにない画期的な美容セラピーです。



幹細胞の自己再生能力に着目した再生美容セラピー

再生美容セラピーが可能になったのは、人間が本来持っている**自己再生能力**を最大限活かすことで、身体の機能や能力を回復させるという高度先進医療の「**再生医療**」が、飛躍的な発展をとげてきたことが大きな要因です。

再生医療が作り出した最大の成果は、人間の体内でいろいろな細胞や組織をつくるもとになる「**幹細胞**」の発見と、その医療への応用です。病気やケガなどで損なわれた組織を修復し、もとの健康体に戻すという画期的な治療法が、幹細胞の活用によって実現をみることになりました。

再生医療のカギとなった幹細胞は、身体のどんな細胞にも変身できる多能性幹細胞（ES 細胞）やノーベル化学賞で注目を集める iPS 細胞だけでなく、体内のさまざまな組織に体性幹細胞としても存在することが明らかになっています。皮膚においても、毛や表皮をつくる表皮幹細胞や、真皮には繊維芽細胞をつくる真皮幹細胞が存在し、肌の維持・再生を図っていることが解明されました。

これまで不可能とされてきた肌の究極の若返りは、この**皮膚の幹細胞**の発見によって、その新たな扉が開かれたといえます。皮膚の幹細胞は、コラーゲン、エラスチン、ヒアルロン酸をつくる繊維芽細胞を生み出し（分化し）て、肌の成長・維持をつかさどるとともに、肌がダメージや損傷を受けたときは、肌の修復・再生を行い、肌を健康に戻します。つまり、肌の健康や若々しさは、すべてこの幹細胞の働きにかかっているといえるのです。

